

FY2015 Financial Results






2015年4月期
決算説明会資料

株式会社フルスピード



Full Speed Inc.

June 12th 2015

Topics

- | | | | | |
|---|-----------------|--|-----------------------------|----|
|  | 01 エグゼクティブ・サマリー | | Executive Summary | 3 |
|  | 02 ビジネスの概況 | | Business Overview | 11 |
|  | 03 FY2015 決算の状況 | | FY2015 Financials | 26 |
|  | 04 中期経営計画の進捗 | | Status of Mid-term Strategy | 31 |
|  | 05 各事業のトピックス | | Topics by Segment | 33 |

Appendix

- | | | | | |
|--|--------------|--|---------------------------|----|
|  | フルスピード社 会社概要 | | About Full Speed Group | 38 |
|  | 中期経営計画サマリー | | Mid-Term Strategy Summary | 42 |



エグゼクティブ・サマリー

Executive Summary

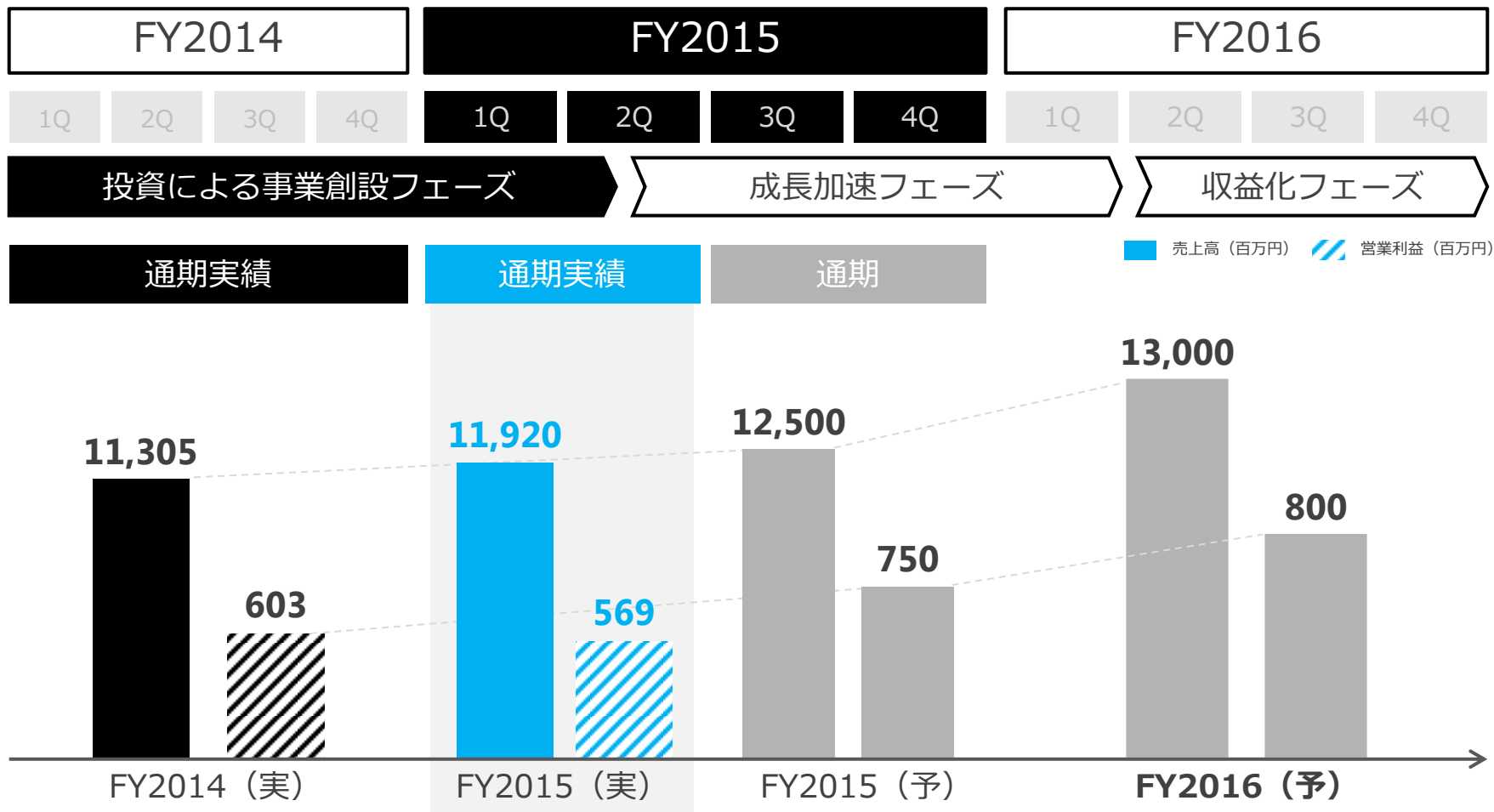
ネットライフを豊かにする広告を。

Ad Technology & Marketing Company

“より良い広告の仕組みを生み出すことは、ネットユーザーのネットライフをもっと滑らかで、今よりも豊かなものにする。”
との事業コンセプトに基づき、フルスピードグループは、“ヒトの心理”と“広告技術”を繋ぎます。

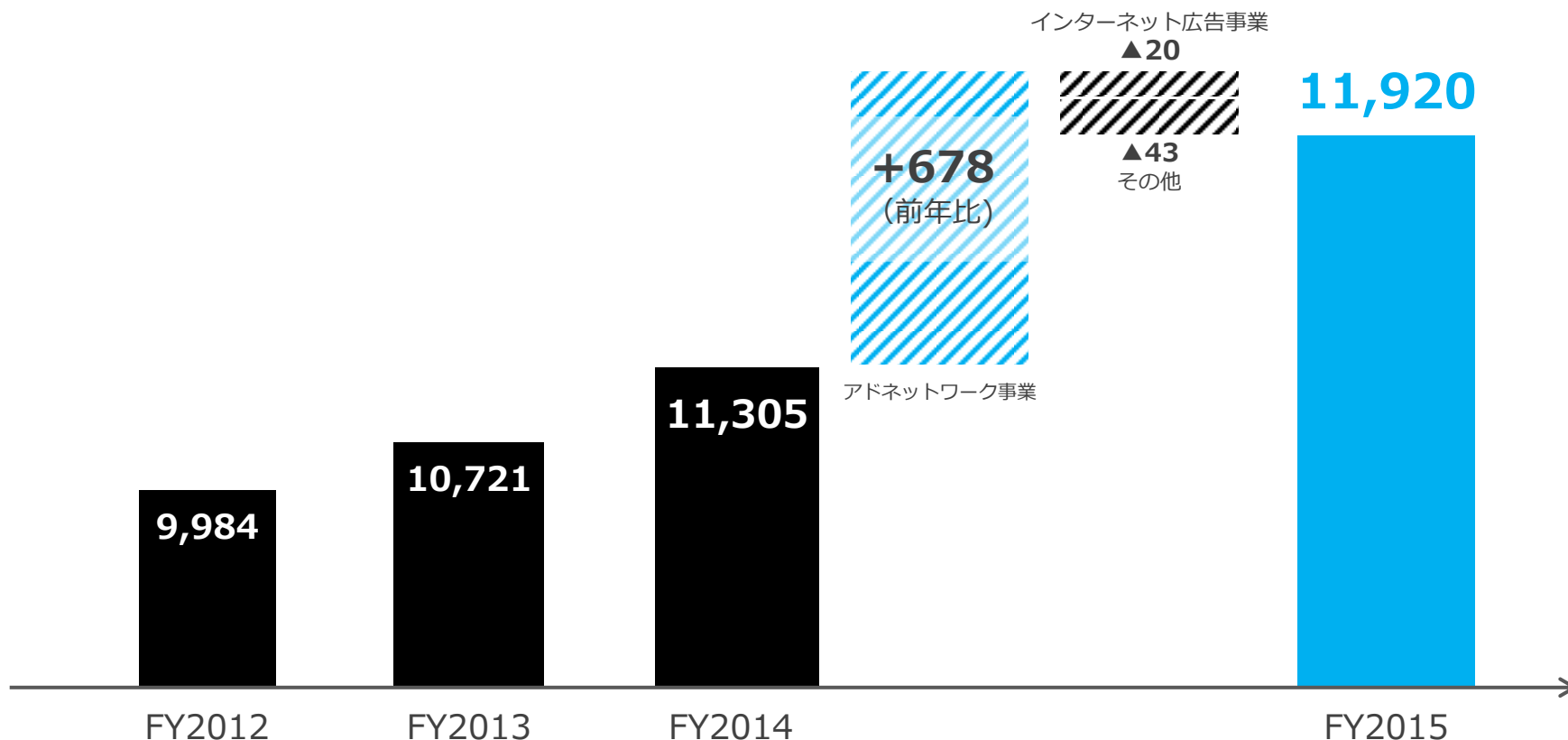


売上・粗利益ともに**前年同期比増**となるものの、
開発計画の前倒しにより、売上・営業利益ともに計画未達成



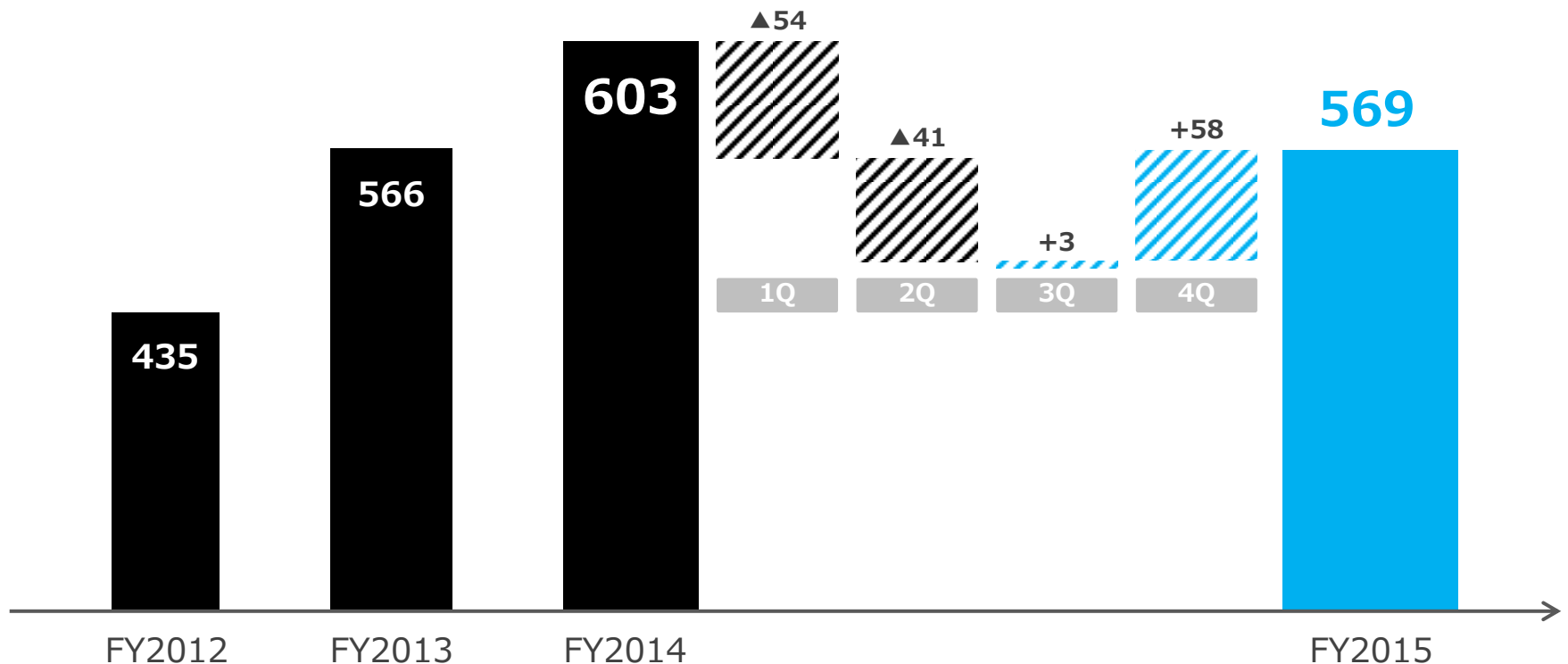
収益構造転換の順調な進捗により、売上高は前年同期比 **+614百万円増**

- アドテクノロジー関連のアドネットワーク事業は引き続き拡大 (**+678百万円増**)
 - インターネット広告は、SEM広告ソリューションの事業構造転換し、改善が進む(**▲20百万円減**)
- * 半期ベースでは、上期/減収 (▲179百万円減) 下期では増収 (**+159百万円増**)



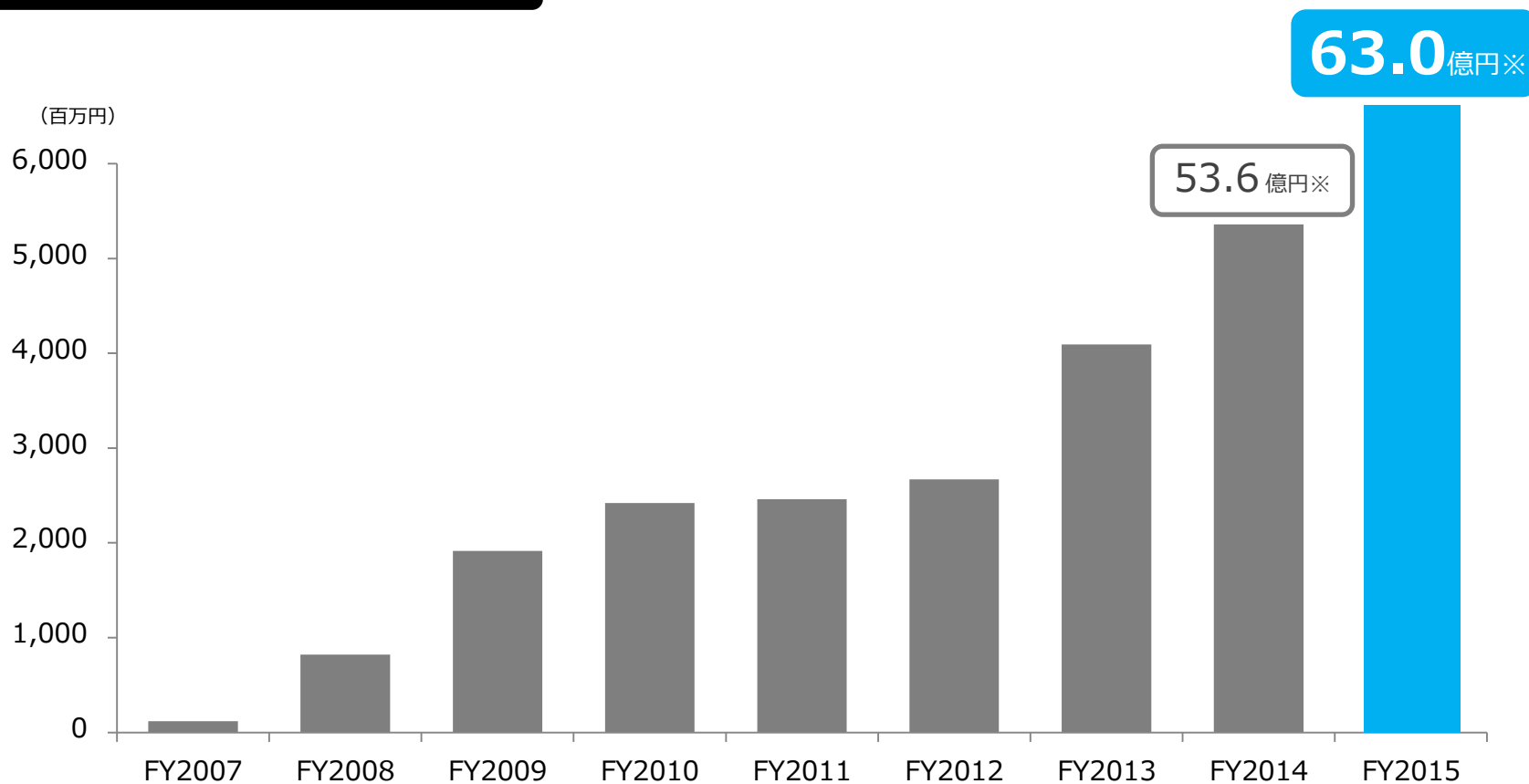
アドネットワーク事業の売上高増加に伴い、粗利益ベースでは増加したものの
人材関連等の費用増加により、営業利益は減益（▲34百万円減）

* 販売管理費の増加要因・・・人材投資、アドテクイベント出店費、前年一時的に貸倒引当金の戻入が生じたことによる反動



アドネットワーク事業は、前年同期比 **17.7%増**、通期での大幅増収を実現
収益性が高く今後の成長領域であるアドネットワーク事業の更なる拡大を目指す

アドネットワーク事業の売上推移

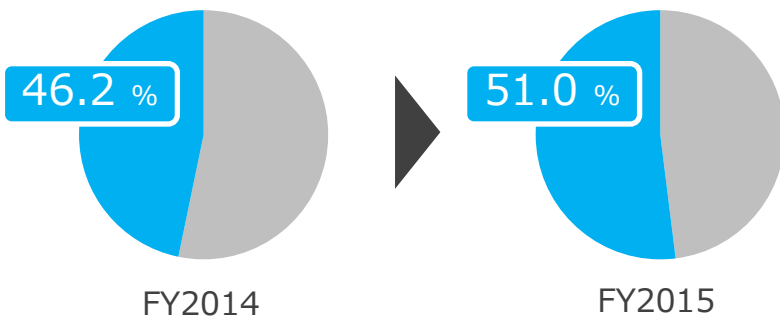


※：売上データはグループ間消去前の数値

FY2016・収益化フェーズの実現のため、アドネットワーク事業の展開加速など、注力事業の展開準備を完了

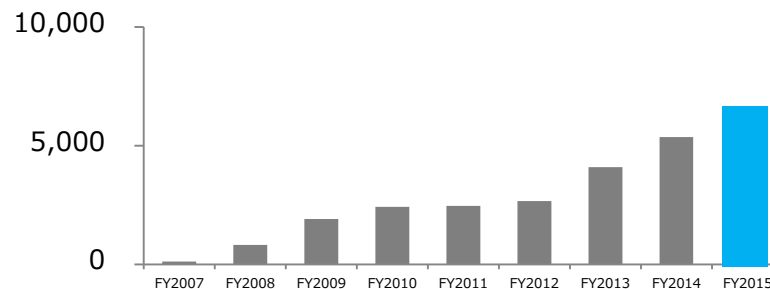
収益構造の転換

- 売上総利益の占有率
- インターネット事業
- アドネットワーク事業



アドネットワーク事業の拡大

- アドネットワーク事業の売上推移



訪日インバウンド事業

- FY2016 OnlyOneポジションを狙う

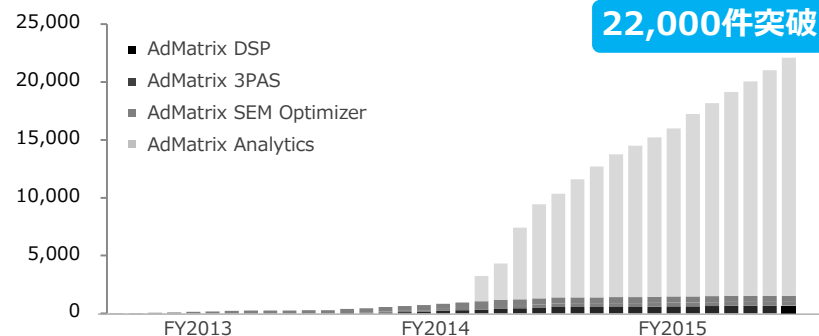


幅広いソリューションをラインアップ

- 越境O2O PR
- 動画 PR
- フリーペーパー
- 訪日ニュースリリース
- etc

独自プラットフォーム AdMatrix Series

- 開発計画を前倒実施。FY2016収益化フェーズに臨む



フルスピードのソリューション領域

現在の事業ポートフォリオ領域								
	SEO	リスティング 広告	アフィリエイト	第三者配信	DSP			
当社の 立ち位置	1~3位 ※1 自社開発	7~8位 ※1 代理店モデル	4~6位 ※1 自社開発	1位 ※1 自社開発	4~7位 ※1 自社開発	+	FY2016拡大予定の 注力領域(市場軸)	
売上貢献度	中	大	大	小	大		NEW 訪日観光客市場	
粗利率	高	低	高	高	高		スマートフォン市場	
市場成長の 見通し								

※1…IR情報等に基づく自社調べ



ビジネスの概況

Business Overview

1 独自プラットフォーム戦略の拡大

2 訪日インバウンド事業の進捗

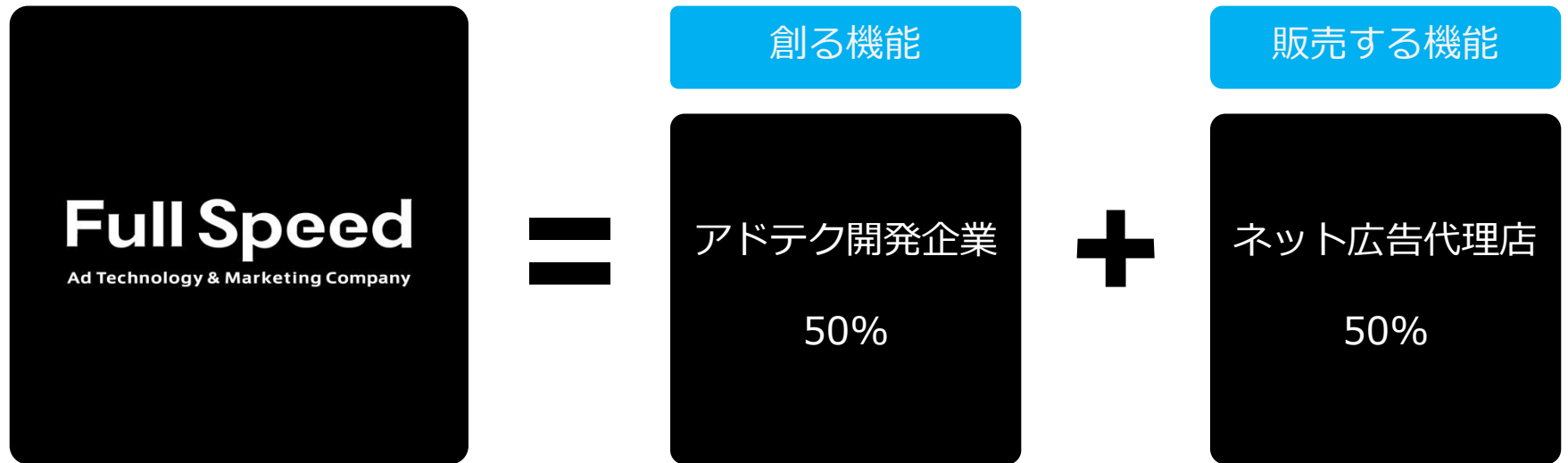
3 TONEとの戦略的業務提携

1 独自プラットフォーム戦略の拡大

2 訪日インバウンド事業の進捗

3 TONEとの戦略的業務提携

“AdTechnology & Marketing Company”として、
 “創る機能”と“販売する機能”の両軸で攻める
 国内唯一のハイブリッド型ネット広告代理店を目指す。



FY2015下期は、注力商品DSPの追加開発による大幅な機能改善を実現
FY2016を**収穫フェーズ**と位置づけ、DSPを軸として、本格的展開を実施

AdMatrix series



AdMatrix[®] DSP

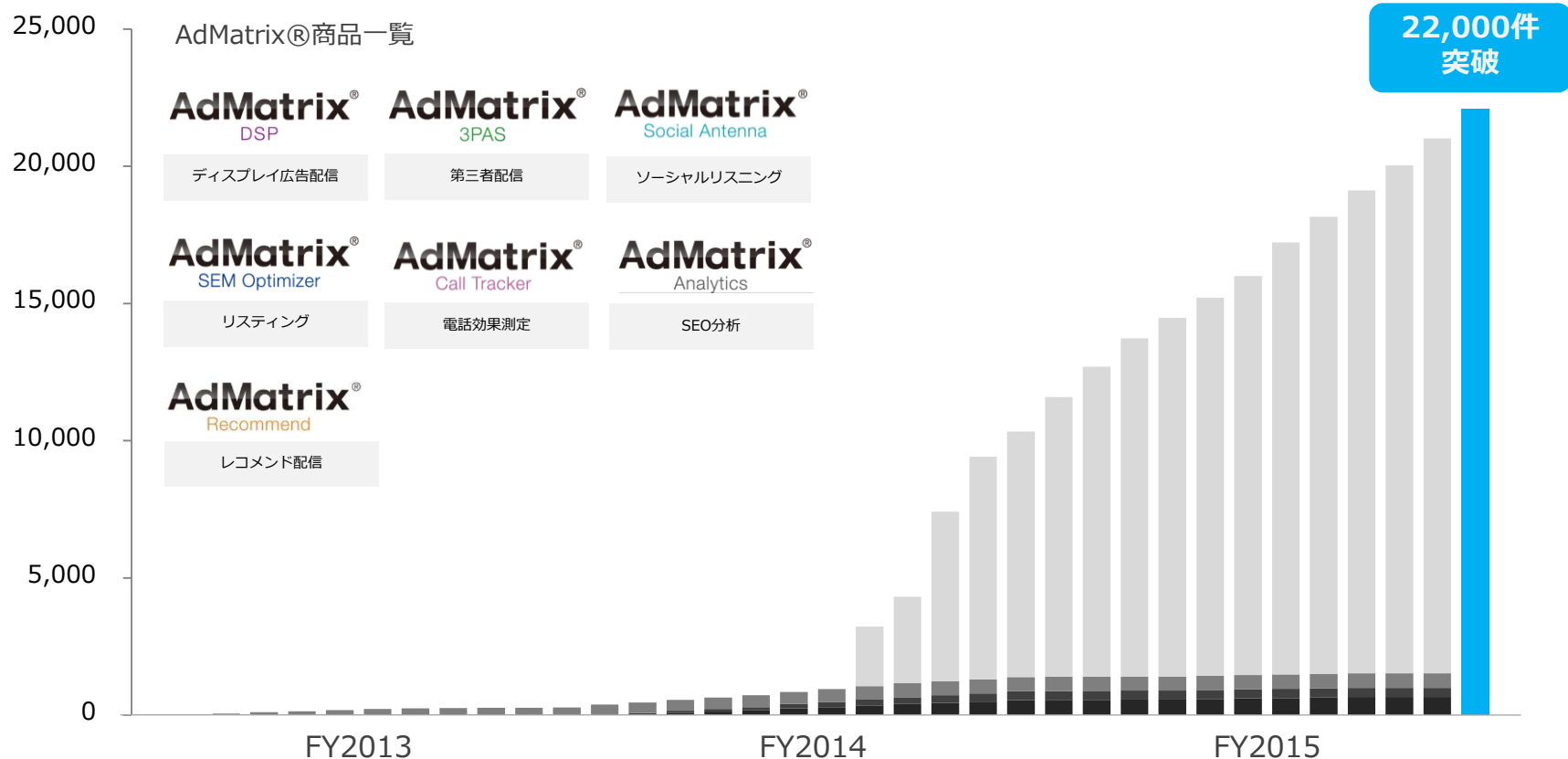
独自のターゲティングを含め、豊富な配信が可能

国内最大級の配信在庫を用意
(月間1,000億インプレッション)

DSP業界初！3PAS連携で配信を最適化

わずか2年程で、AdMatrix®シリーズ 累計 22,000件に達するなど、ブランドも浸透しつつあり、以降の拡販に向けた取り組みを一層強化する方針

AdMatrix®利用状況の推移



外部との連携強化とともに、企業あるいは将来のアライアンス先が保有する大規模データを活用したDMP領域にも事業投資を拡大することにより、広告配信精度向上とともに、データマネジメントを軸に幅広い広告ソリューションを展開

AdMatrix®を用いたデータマネジメントビジネスへ



1

独自プラットフォーム戦略の拡大

2

訪日インバウンド事業の進捗

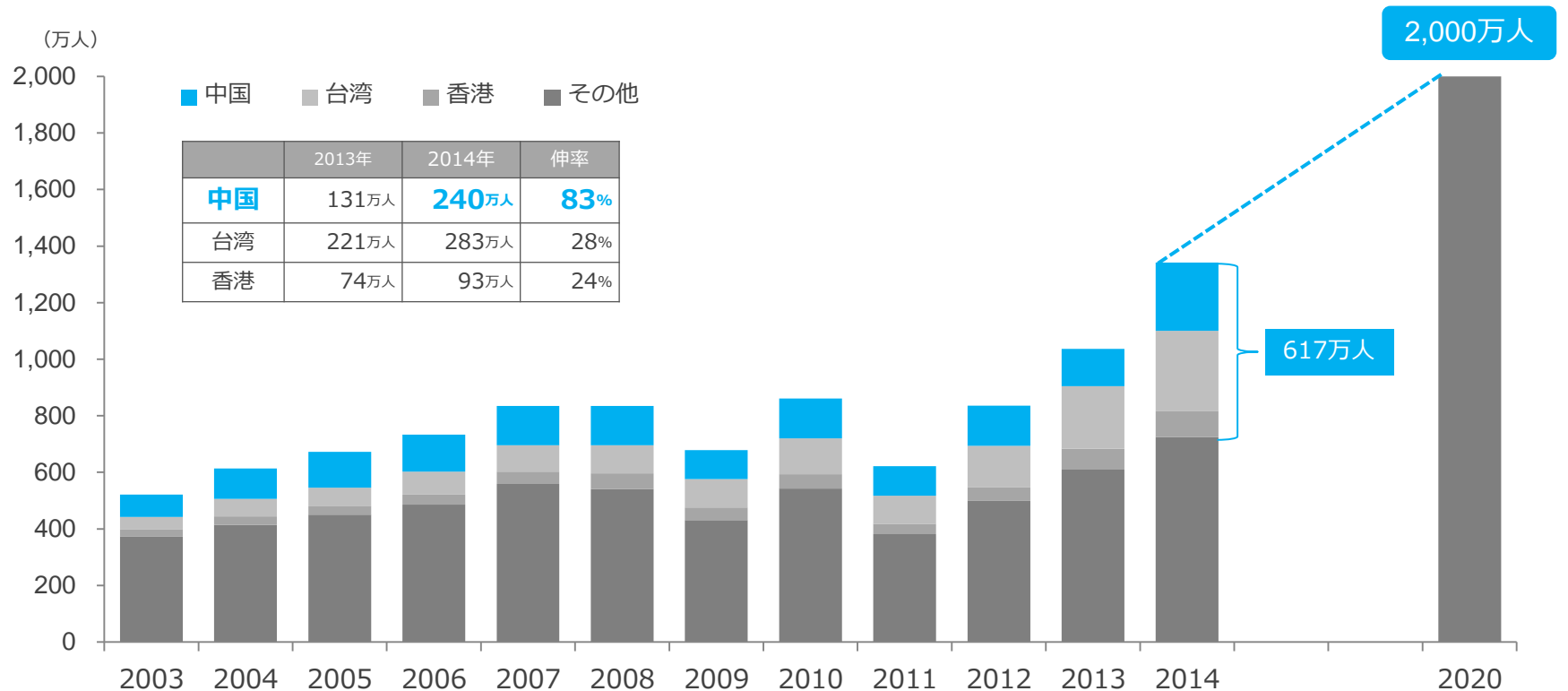
3

TONEとの戦略的業務提携

盛り上がる成長市場「訪日インバウンド市場」

2014年の訪日外国人旅行者数は、過去最多の1,341万人（*約617万人が中国関連）
観光庁は、**2020年までに2,000万人**の訪日旅行者を目指す

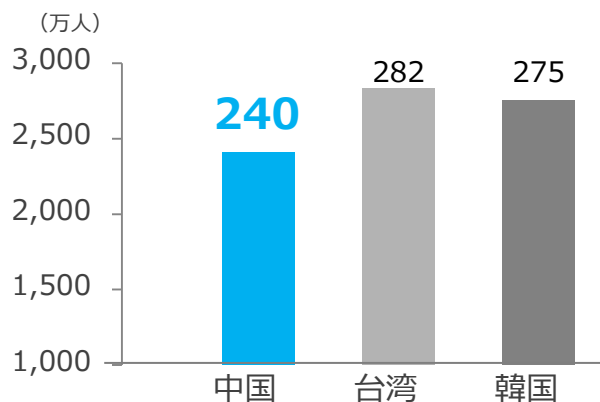
訪日外国人旅行者数



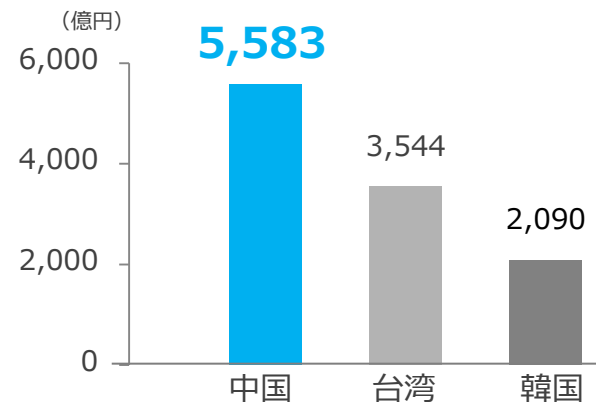
※「観光庁」データ参考

中国人観光客の一人あたりの支出費用 & 滞在日数がTOP
 “爆買い”で注目される中国人の平均消費額は他国(台湾・韓国) を大きく上回る、
 今後も更なる拡大が見込まれる

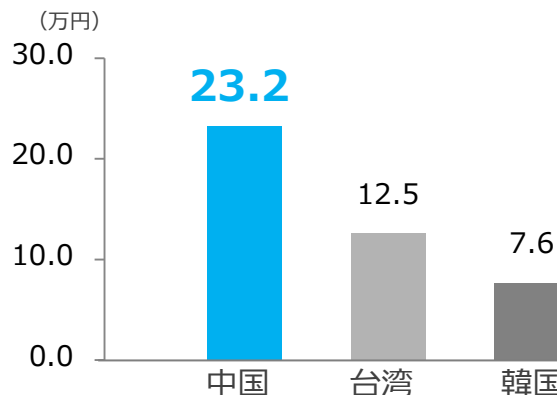
訪日外客数



旅行消費額

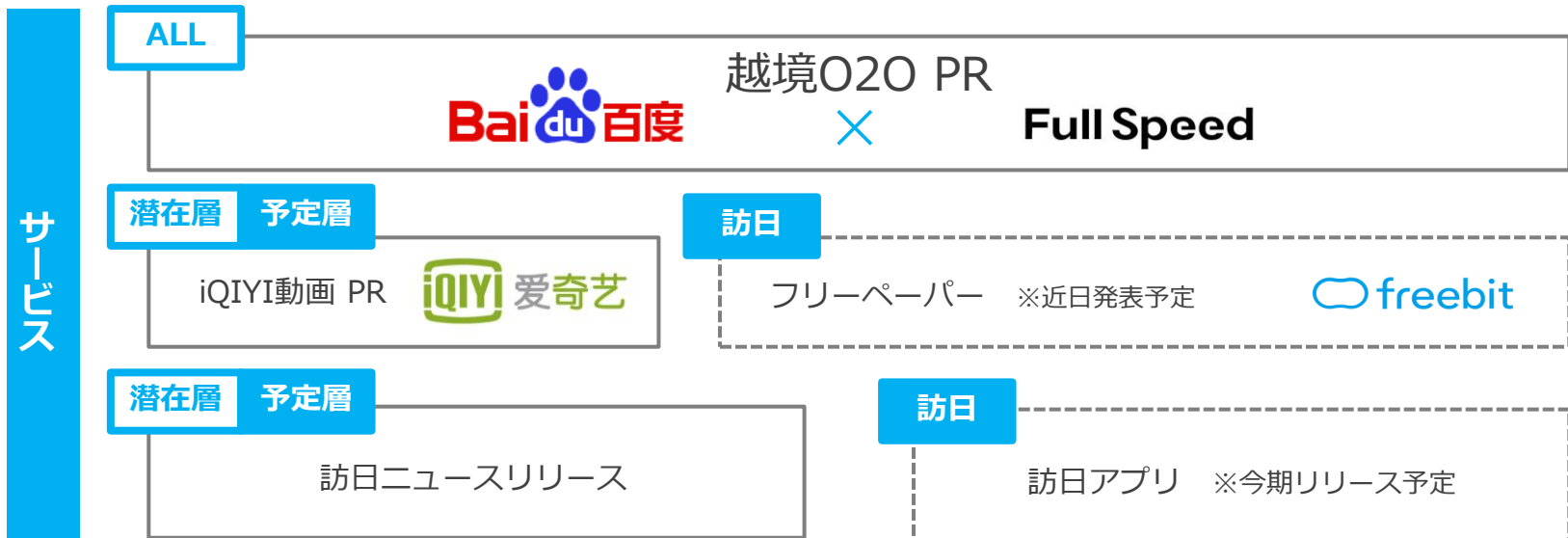
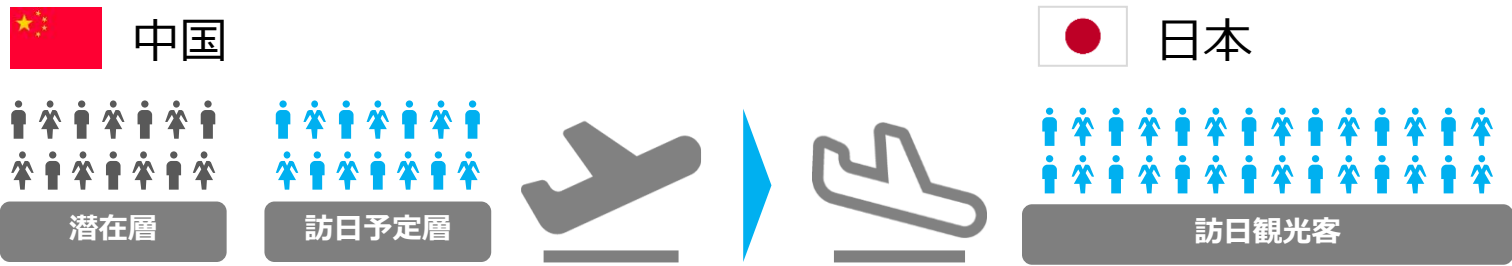


一人当たり旅行支出

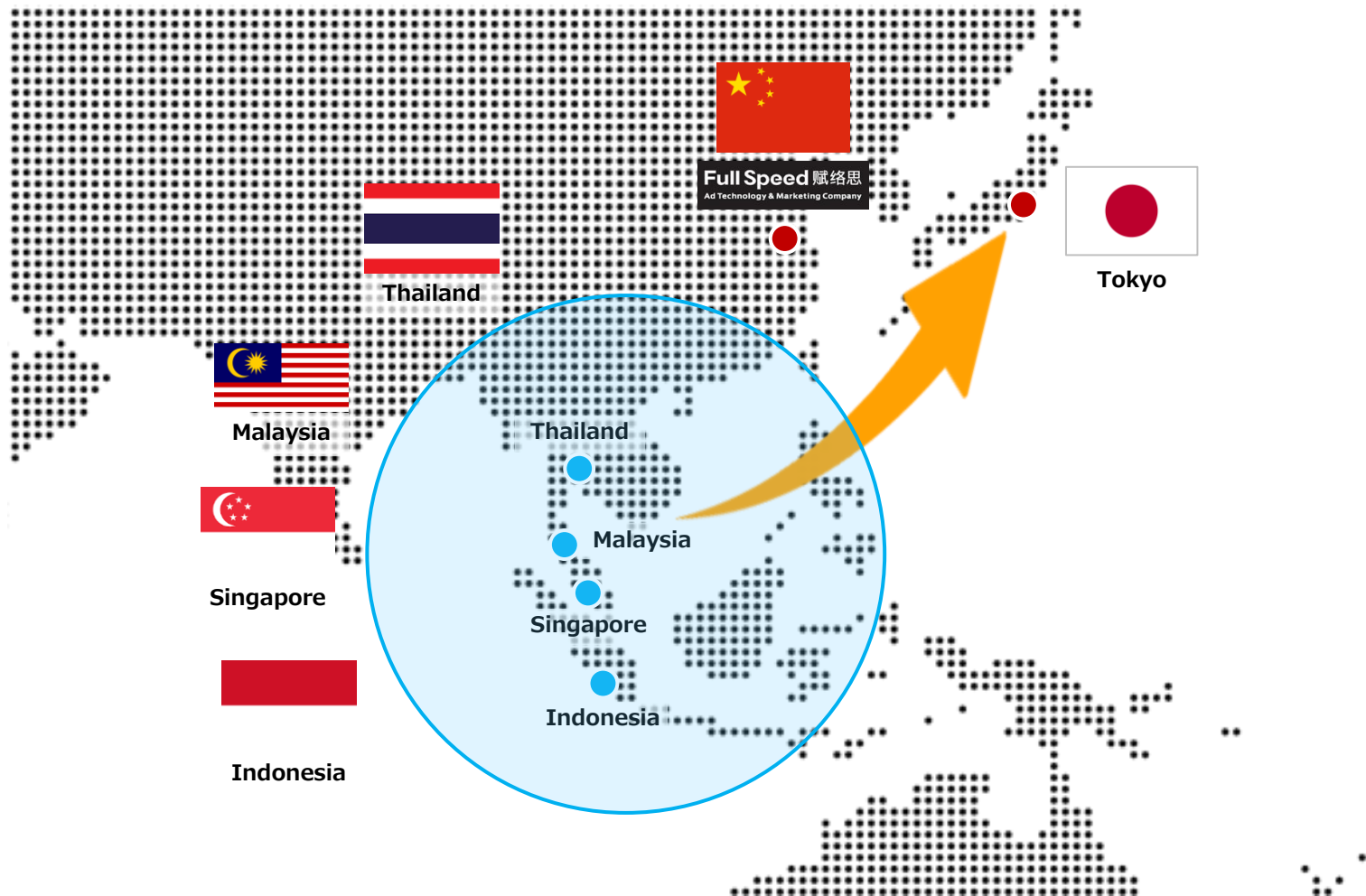


※「日本政府観光局(JNTO)」データ参考

さまざまタッチポイントでリーチし、誘導する仕組みを開発
 今年度リリース予定の「フリーペーパー」「訪日アプリ」の保有により、
 潜在・訪日予定・訪日観光客に対し、層別・網羅的なソリューションを実現



中国展開での経験・ノウハウをベースに東南アジア諸国への水平展開
積極的に現地企業との戦略的提携を実施し、優位なポジションの確保を狙う



1

独自プラットフォーム戦略の拡大

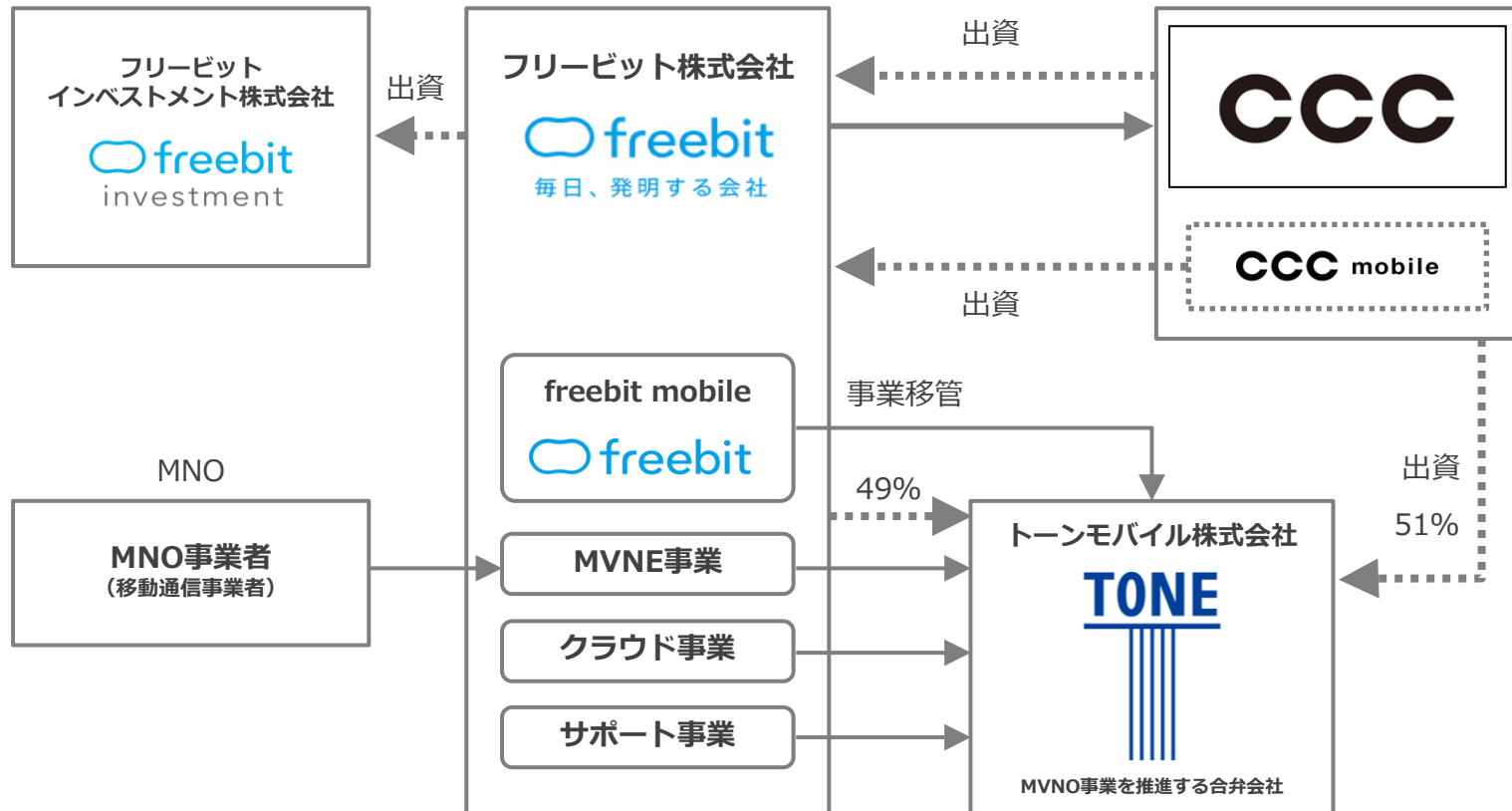
2

訪日インバウンド事業の進捗

3

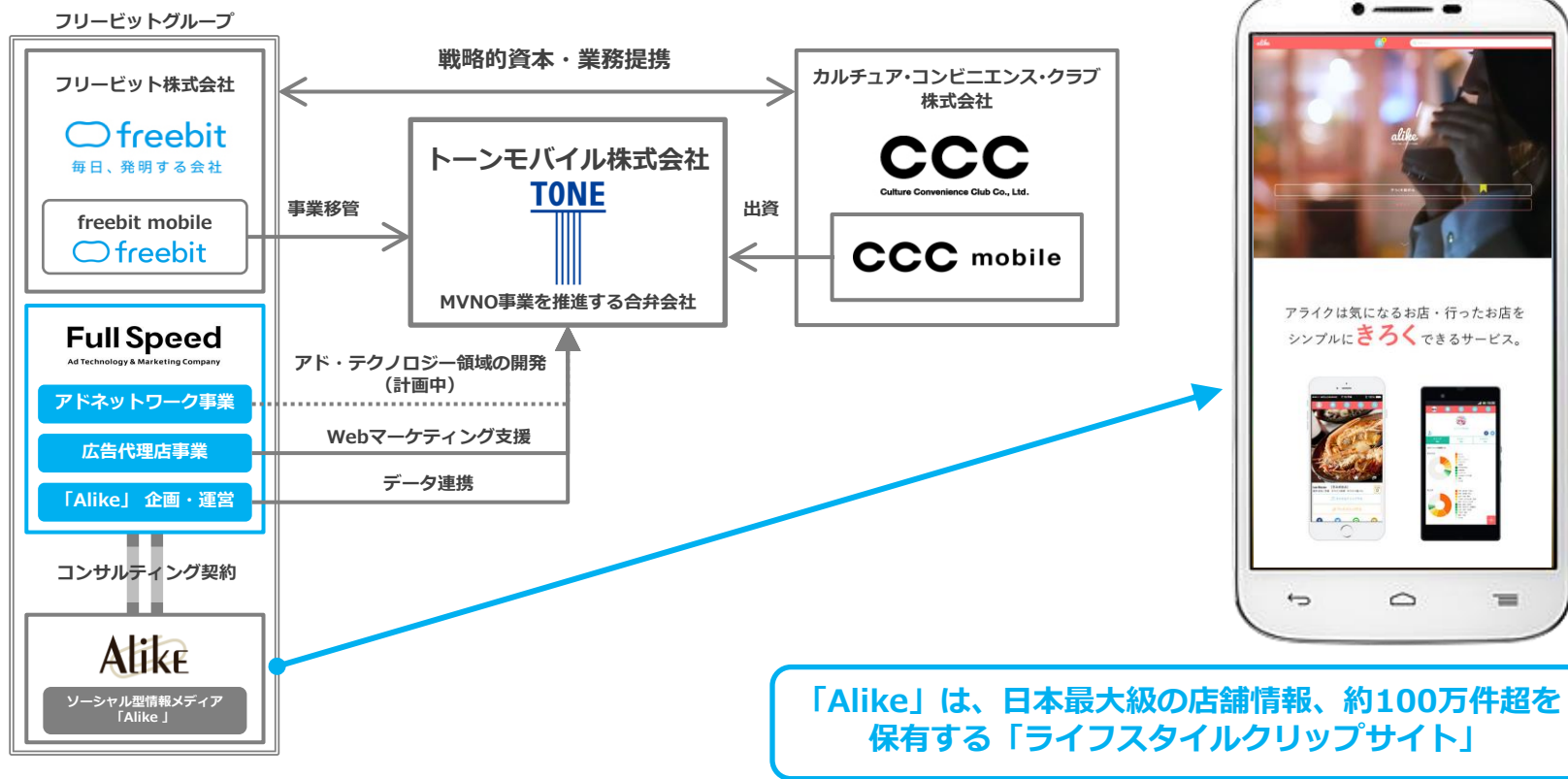
TONEとの戦略的業務提携

当社親会社/フリービットとカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)による
 戦略的資本・業務提携を発表 (2015.2.18)



Full Speed Inc. **アドネットワーク事業** **広告代理店事業**

「TONE」と「Alike(アライク)」のサービス提携
 トーンモバイルが提供するスマートフォン端末「TONE」のプリインストール型通信アプリに「Alike」サービスを搭載。GPSと連携してエリア毎のカテゴリ別情報をリアルタイムで掲載





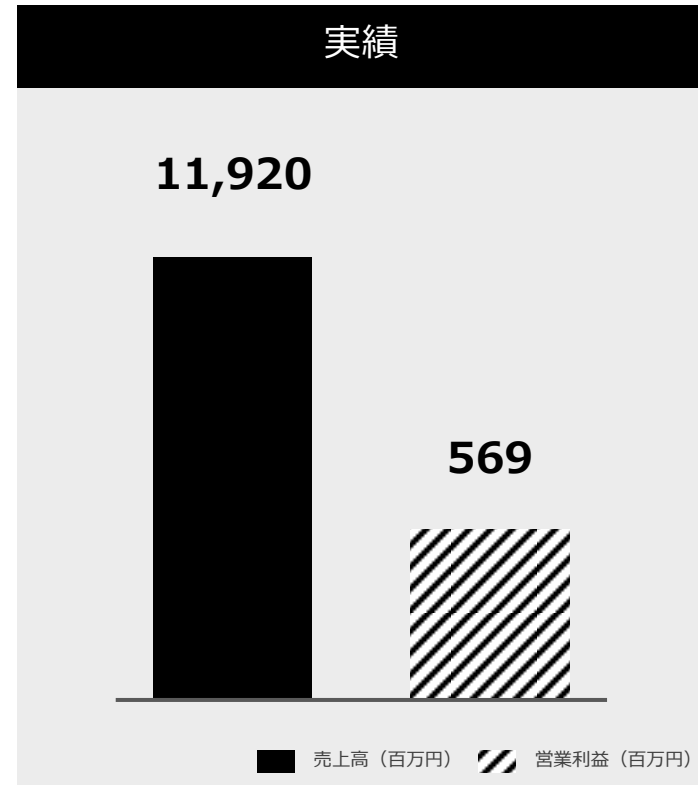
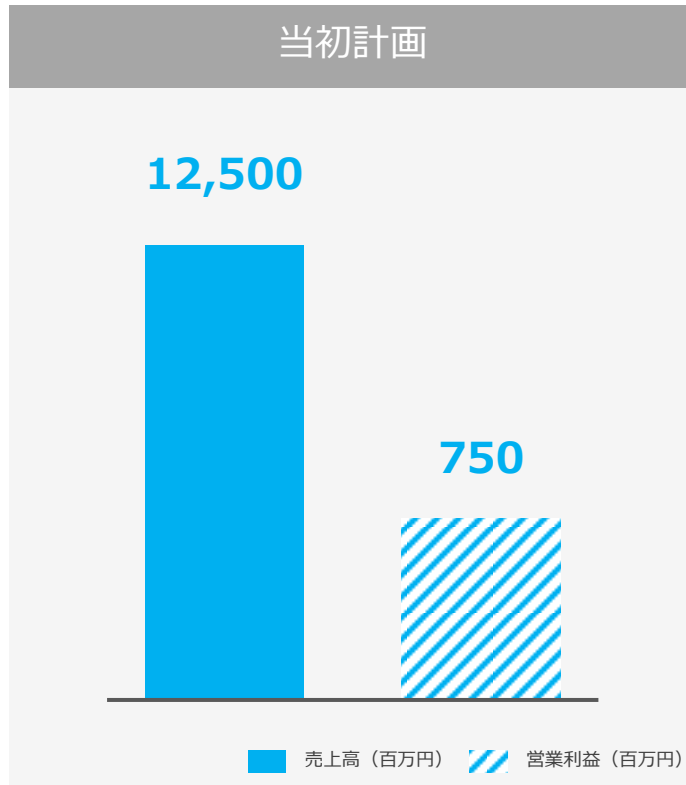
FY2015 決算の状況

FY2015 Financials

売上高・営業利益ともに計画を下回る。

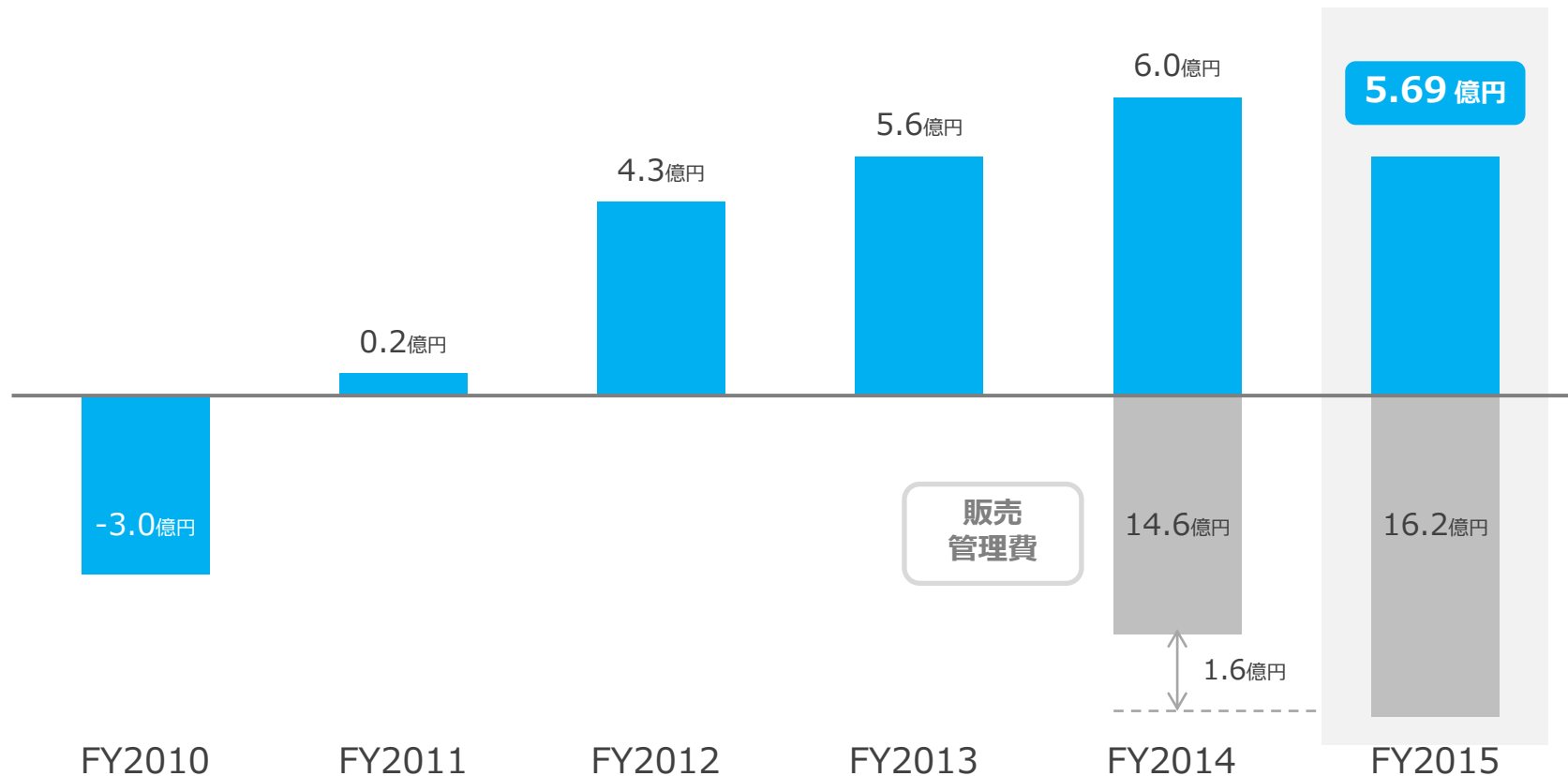
売上高は119.20億円（前年比+5.4%増）、営業利益5.69億円（前年比▲5.6%減）

売上高・営業利益の当初計画と実績



戦略的投資を実行したことにより、
企業再生期(FY2010)以降、前年度比で初の減益

営業利益の推移



アドネットワーク事業の拡大により、売上高は増収。販売管理費の増加により営業利益は減益。当期純利益は、投資有価証券の売却などにより増益で着地。

連結P/Lサマリー

	2014年4月期	2015年4月期	対前期 増減額
	4Q	4Q	
	2013/5/1～	2014/5/1～	
(単位：百万円)	2014/4/30	2015/4/30	
売上高	11,305	11,920	+614
売上原価	9,232	9,721	+489
原価率	81.7%	81.6%	
売上総利益	2,073	2,198	+125
販売費及び一般管理費	1,469	1,629	+160
販管費比率	13.0%	13.7%	
営業利益	603	569	-34
営業利益率	5.3%	4.8%	
営業外収益	4	6	+2
営業外費用	29	41	+12
経常利益	577	533	-44
経常利益率	5.1%	4.5%	
特別利益	0	103	+103
特別損失	118	12	-106
当期純利益	359	444	+85
当期純利益率	3.2%	3.7%	

■ 注力事業であるアドネットワーク事業の牽引により増収

市場拡大とともにアドネットワーク事業が引き続き拡大。インターネット広告代理店事業も改善。

■ 販売管理費の増加により、営業利益は減益

人材関連への投資、前年一時的に貸倒引当金の戻入が生じたことによる反動の影響あり。

■ 投資有価証券の売却、前期発生した特損が剥落により、最終利益は増益

事業の安定化により、純資産が安定的に増加

連結B/Sサマリー

資産の部

(単位：百万円)

	2014/4 (期末)	2015/4 (3Q末) ①	2015/4 (期末) ②	②-①
現金及び預金	1,259	1,662	1,475	△187
売掛金	1,415	1,557	1,599	42
その他	198	179	191	12
流動資産	2,872	3,398	3,265	△132
有形固定資産	92	95	96	0
無形固定資産	199	277	282	4
投資その他の資産	115	107	126	18
固定資産	406	480	504	23
総資産	3,279	3,878	3,770	△108

負債・純資産の部

(単位：百万円)

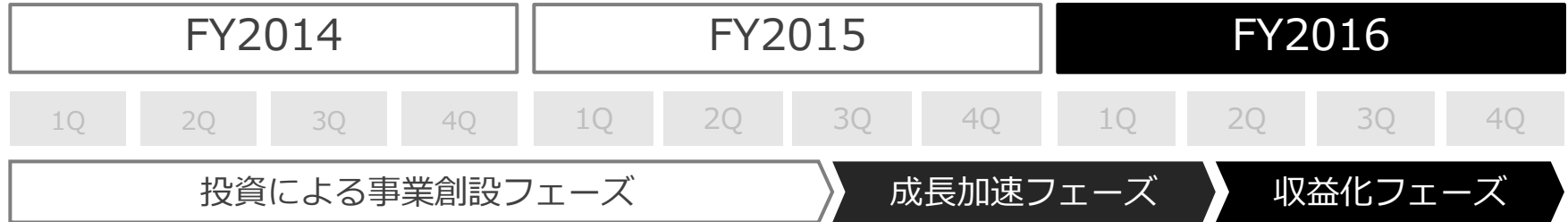
	2014/4 (期末)	2015/4 (3Q末) ①	2015/4 (期末) ②	②-①
買掛金	1,046	1,110	1,054	△56
短期借入金	782	682	582	△100
1年内返済予定の長期借入金	347	354	188	△166
その他	284	347	404	57
流動負債	2,459	2,493	2,228	△264
長期借入金	72	153	134	△19
その他	0	4	4	0
固定負債	72	157	138	△19
負債	2,532	2,651	2,367	△283
資本金	799	898	898	0
資本剰余金	770	869	869	0
利益剰余金	△829	△560	△385	174
株主資本	740	1,208	1,383	174
純資産	747	1,227	1,402	174
負債純資産	3,279	3,878	3,770	△108



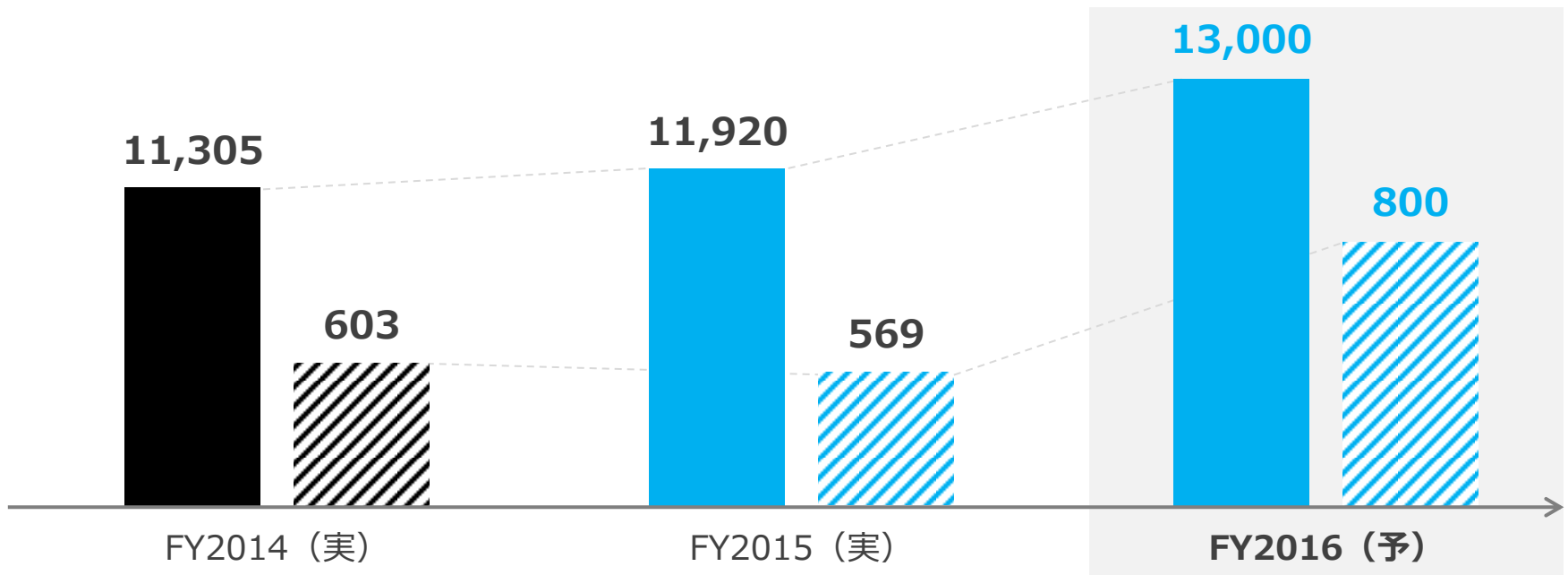
中期経営計画の進捗

Status of Mid-term Strategy

中期経営計画の最終年度となるFY2016については、
前年度の開発計画の前倒しの影響を受けるものの、
売上高130億円（前年比+9.0%）、営業利益8.0億円（前年比+40.5%）



■ 売上高（百万円） ▨ 営業利益（百万円）





各事業のトピックス

Topics by Segment

Free Paper

* 近日詳細発表予定

大手LCC利用者に**直接リーチ**する**訪日中国人向け**フリーペーパー

 freebit

Full Speed



大手LCC

強み

1 訪日観光客のみに直接リーチ

2 長い接触時間

訪日ニュースリリース

訪日観光客に**出発前のお買い物リスト**に商品を入れてもらうことを目的とし、中国国内で影響力のあるニュースサイトにオリジナルPR記事を掲載するサービス

Full Speed
Ad Technology & Marketing Company



中国メディア



お買い物リストにランクイン
指名買い・大量購入へ！

Affiliate-B

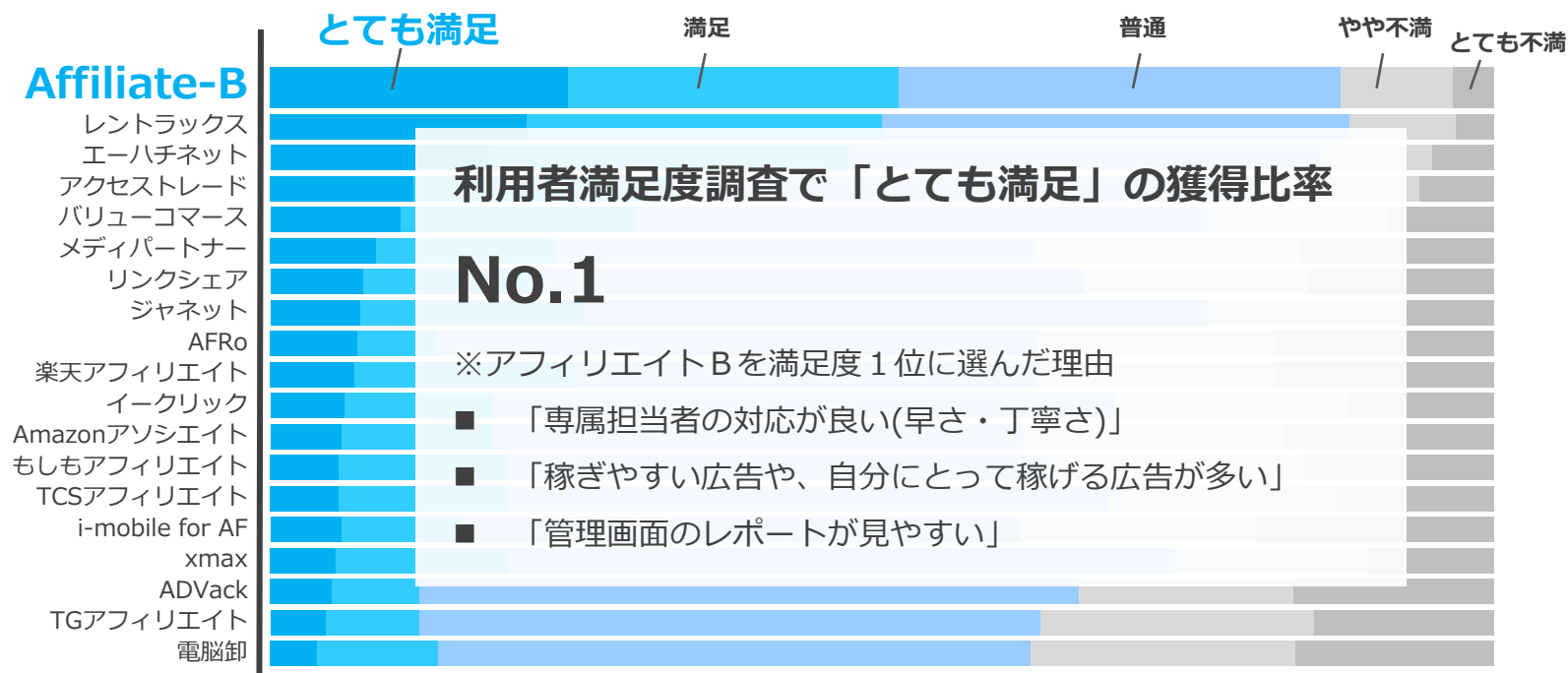
スマホ・PC・タブレット展開で好調に推移

Partner数

44.6万サイト以上（前年比 **16.6 %UP**）

取扱いPR数

前年比 **41.1%UP**



特定非営利活動法人アフィリエイトマーケティング協会「アフィリエイト・プログラムに関する意識調査2015」参考

2014年8月18日

第三者割当による新株予約権の発行決議

24,000個

アドテク領域、海外展開などの成長分野に充当し、事業規模拡大を加速させる

行使進捗状況

9月	10月	11月	12月	1月	2月
1,400個	1,650個	一個	一個	一個	一個
3月	4月	5月			
一個	一個	一個			



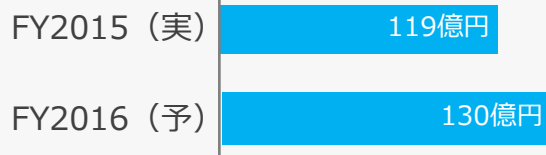
フルスピード社 会社概要

About Full Speed Group

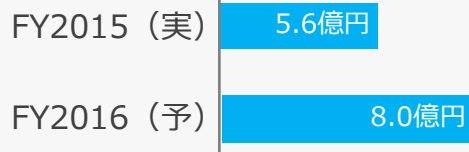
- 会社名 株式会社フルスピード | **Full Speed Inc.**
- 事業内容 アドテクノロジーの開発及びインターネットマーケティング事業
- 設立 2001年1月4日
- 資本金 8.9億円
- 上場月 2007年8月（東証マザーズ上場）
- 年商 119億円（※2015年4月期 連結売上実績ベース）

会社業績

売上高



営業利益

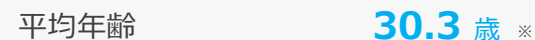
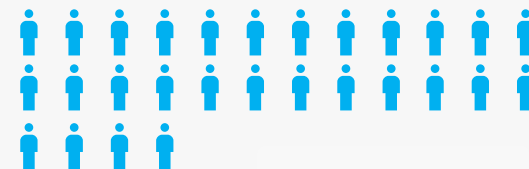


※会社業績及び予想は、平成27年4月期 決算短信（日本基準）（連結）

拠点一覧



従業員情報



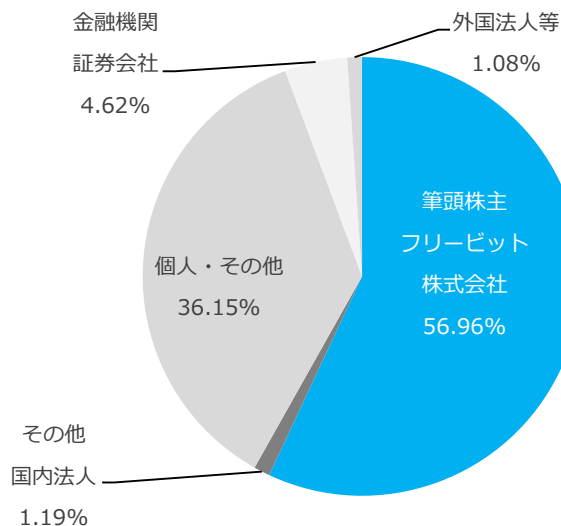
※ データ：FY2015実績（フルスピード連結）

2001年1月	Webサイトの企画・制作・運営を目的として、京都府城陽市に有限会社エクシスを設立
2002年6月	成功報酬型SEOサービスの販売を開始
2004年10月	Google, Inc.と販売代理店契約締結
2006年2月	ヤフー株式会社（旧：オーバチュア株式会社）と代理店契約締結
2007年8月	東京証券取引所マザーズ市場に株式上場
2008年7月	インターネットマーケティング事業の強化を目的として、株式会社ファンサイドを子会社化
2010年1月	顧客企業に対する総合的な支援を目的とし、企業を対象とした有料会員制サービス「フルスピードクラブ」を開始
2010年4月	アフィリエイト広告事業（「アフィリエイトB」）を分社化し、株式会社フォーイットを設立
2010年6月	フリービット株式会社（当社の筆頭株主）との間で、資本業務提携契約を締結
2012年6月	広告運用統合プラットフォーム「AdMatrix（アドマトリックス）シリーズ」を開発
2012年7月	親会社フリービットが所在する同一ビル内に本社を移転（渋谷区）
2012年8月	中国（上海）に現地法人「上海賦絡思广告有限公司」を設立
2013年11月	普通株式1株を100株に株式分割

株式数・株主数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済み株式数	15,571,000株
株主数(議決権あり)	7,519名

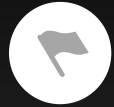
所有者別株主構成



上位株主(1位~10位)の状況

2015年4月30日現在

順位	株主氏名	所有株数	比率
1	フリービット株式会社	8,870,400	56.96%
2	一般個人株主	315,000	2.02%
3	松井証券株式会社	176,600	1.13%
4	日本証券金融株式会社	121,100	0.77%
5	BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	82,300	0.52%
6	株式会社SBI証券	79,600	0.51%
7	マックス証券株式会社	76,000	0.48%
8	一般個人株主	65,000	0.41%
9	株式会社サン・クロレラ	60,000	0.38%
10	サン・クロレラ販売株式会社	60,000	0.38%



中期経営計画サマリー

Mid-Term Strategy Summary

フルスピードの企業理念

インターネットマーケティング業界において、優れたサービスの開発と高い顧客満足を提供する会社になることで、顧客、社員、株主、そして社会に貢献すること。

差別化戦略

独自のアドテク（アド・テクノロジー）による差別化を基本戦略とする

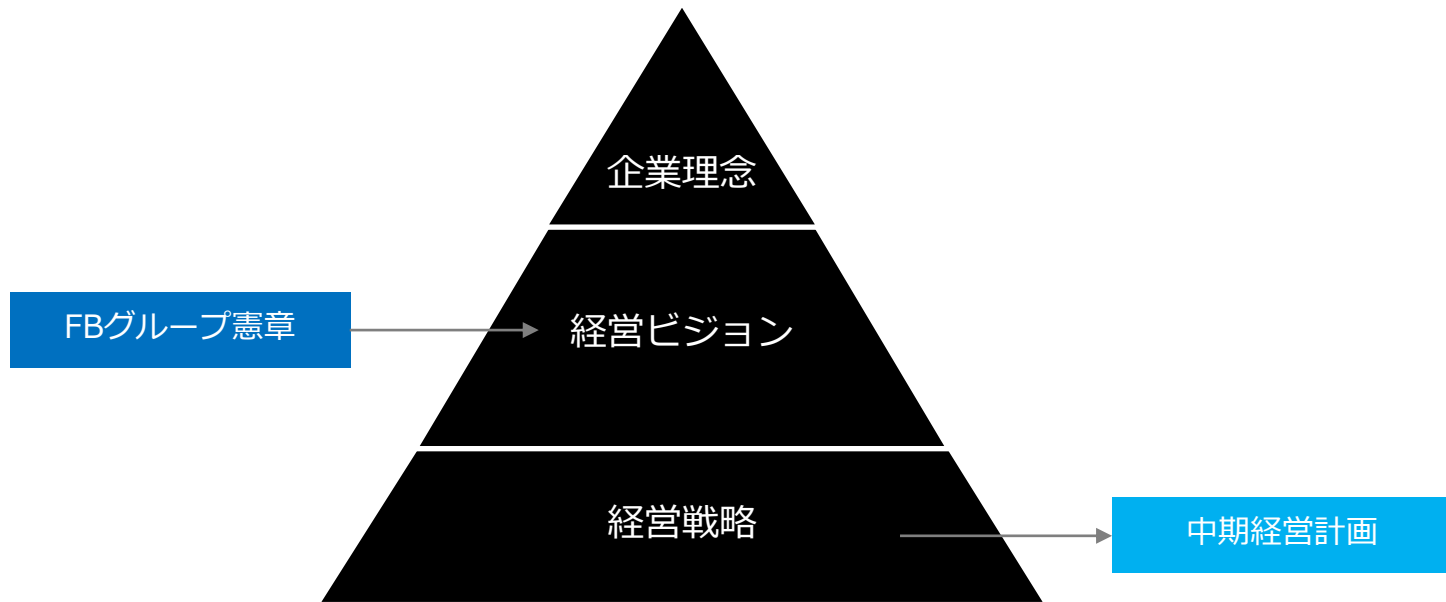
顧客至上主義

徹底した顧客満足度向上を追及し、高付加価値サービスを提供する

社会との調和

社会に対する貢献度が高く、高い志をもって取り組める事業を行う

フルスピードの理念体系

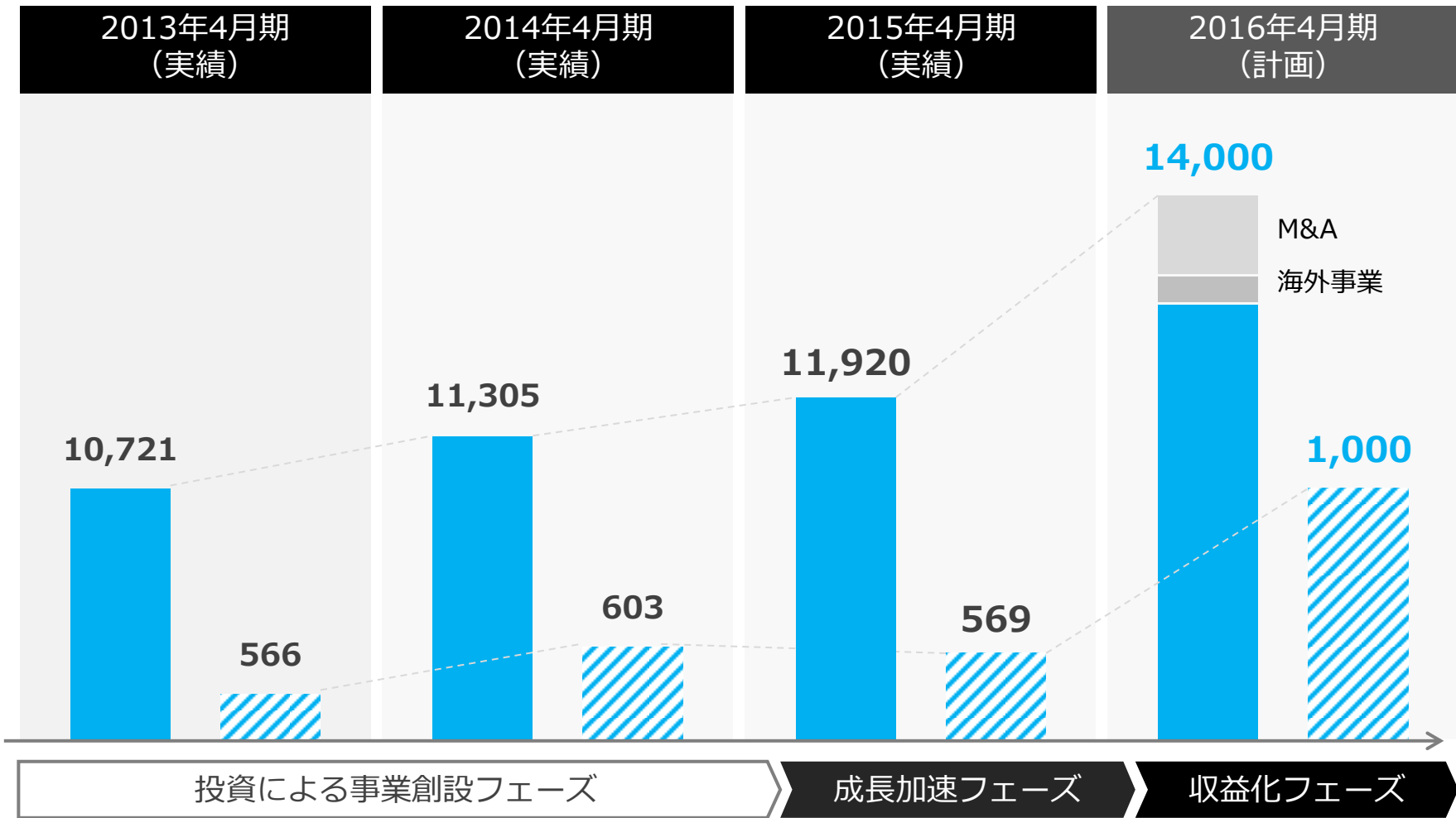


3つの 理念体系

フルスピードグループの理念体系は、フルスピードが掲げる「**企業理念**」、フリービットグループの「**FBグループ憲章**」に基づく「**経営ビジョン**」、そしてその双方を実現していくための中期経営計画を含む「**経営戦略**」の三つのレイヤーによって構成されています。

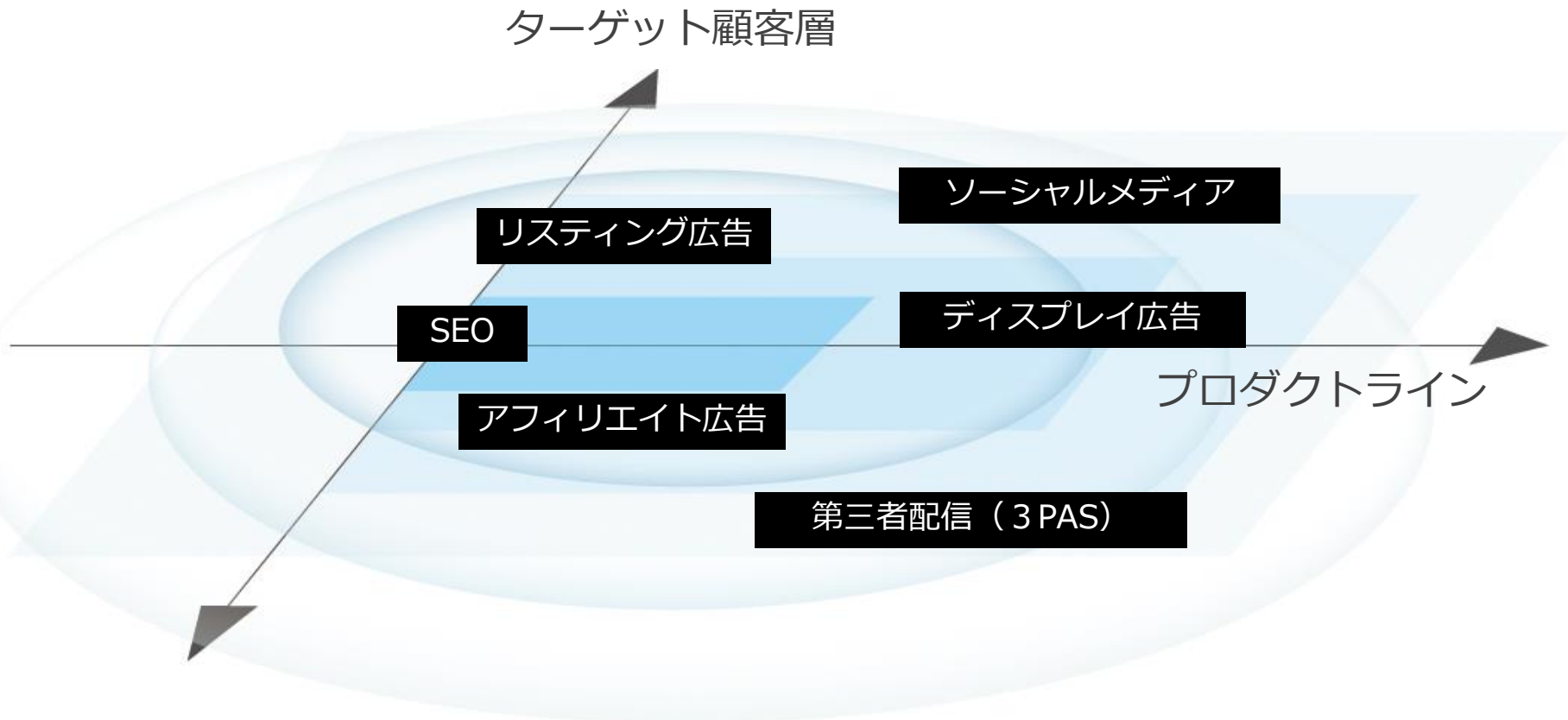
フルスピード三ヶ年計画

売上高 (百万円) 営業利益 (百万円)



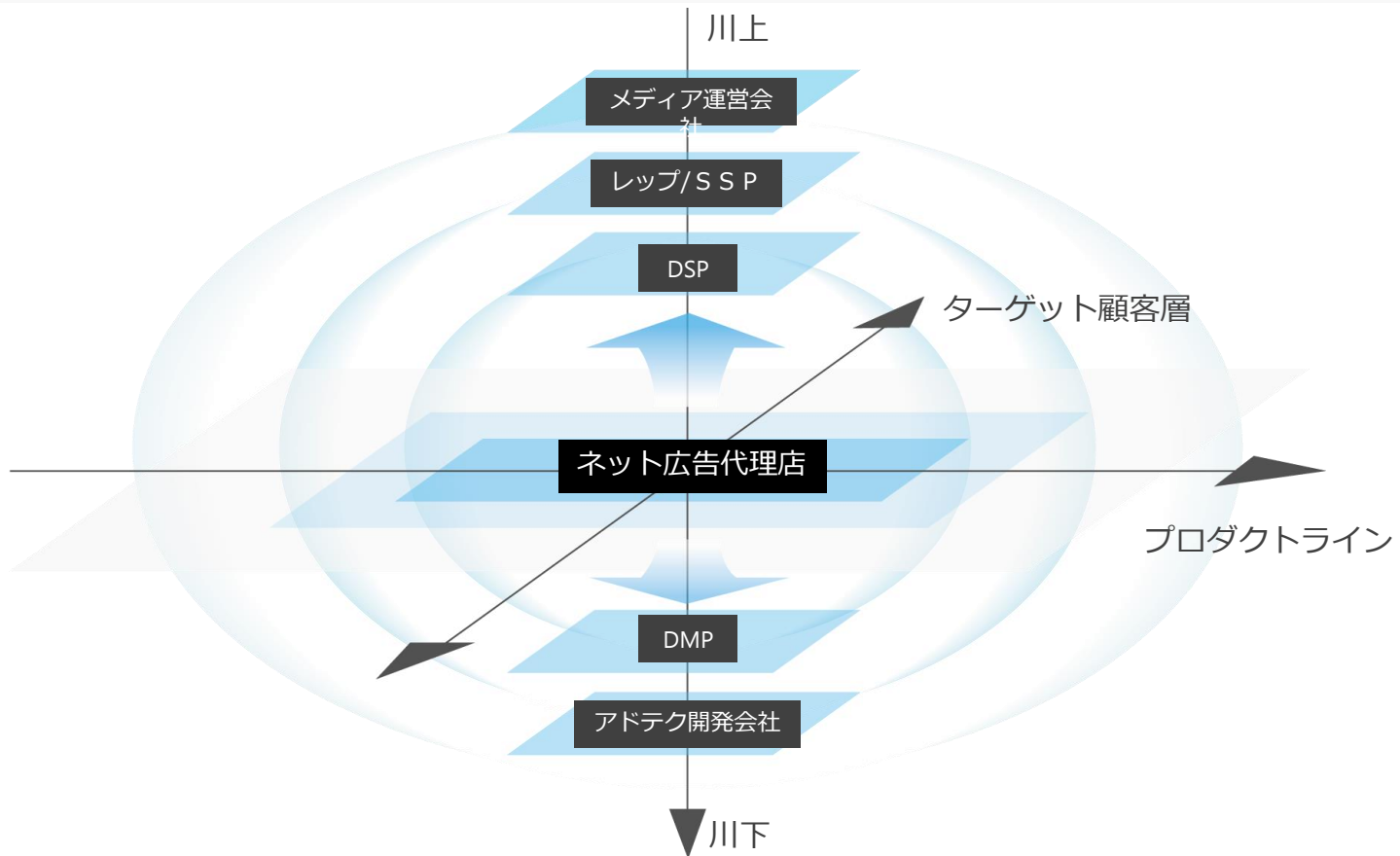
水平レイヤーへの展開

プロダクトとしては、既存のコア事業に加え、「ディスプレイ広告」「ソーシャル・メディア」「第三者配信(3PAS)」の領域を深耕する方針。



垂直レイヤーへの展開

ネット広告代理店を主たるドメインとし、川上(メディアサービス)や川下(テクノロジー開発)への領域拡大を図り、ここ数年で垂直レイヤーへの展開を開始する。



人材マネジメントにおけるコンセプト

尖り人材を増やす。

ただのスペシャリストは要らない。

伸びていくヒトに惜しみなく機会を与える。

採用コンセプトの考え方

単一のスキルセットに偏る人材は要らない。

少なくとも2つ以上の専門性の高いスキルセットを既に持っている人材を採る、あるいは将来持てるポテンシャル人材を採り、育成する。

“ ヒトの心理 ” と
“ 広告技術 ” を繋ぐ。

Full Speed Inc.

免責事項

本資料は株式会社フルスピードの2015年4月期の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、また、今後、予告なく変更することがあります。